

2015 年度公益社団法人日本図書館協会事業報告

はじめに

日本図書館協会（以下「日図協」）は、2014 年 1 月 21 日に公益社団法人として再出発し、2015 年度は公益社団法人として 3 年度目であった。すべての事業について、公益法人として社会貢献を一層強化するためにふさわしいかどうかという観点で点検するとともに、2015 年度は 2013 年度から始まった中期財政再建計画（改訂）の最終年度に当たり、その着実な遂行について努力してきた。

社会貢献の観点では、障害者差別解消法が 2016 年 4 月に施行されたが、2015 年 12 月に「図書館利用における障害者差別の解消に関する宣言」を行い 3 月には「図書館における障害を理由とする差別の解消の推進に関するガイドライン」を発表した。学校図書館に関しては、学校図書館職員問題検討会において、学校司書の資格、養成の在り方等について検討を重ねてきた。認定司書については、新たな認定によりその数は 116 名になった。全国図書館大会は 101 回を迎えたが、1300 名余の参加を得て、国立オリンピック記念青少年総合センターで開催された。また、今後の災害に対して即応体制が取れるよう図書館災害対策委員会を設置し、東日本大震災対策委員会はその中の小委員会として位置づけ、組織体制を確立した。そして、長年にわたって公共図書館等の選書や蔵書構成に資するために行ってきた図書選定事業は、情報環境の変化などから、2015 年度いっばいで終了することとした。

財政面ではまだ制約があるなかで、会員や関係者の努力と協力により、以下の活動を展開し、成果をあげてきた。その結果について報告する。

I. 公益目的事業

1. 講座・セミナー・育成

(1) 第 101 回全国図書館大会東京大会の開催

テーマ：図書館は 地域の広場 生きる力

2015 年 10 月 15 日、16 日 国立オリンピック記念青少年総合センター 参加者：
1365 名

部会・委員会が担当した分科会一覧

	分野別	テーマ	担当	参加者
1	公共図書館	これからの図書館ネットワークのあり方	図書館政策企画委員会	135
2	大学図書館/利用教育	学習支援の次なる Step	大学図書館部会/図書館利用教育委員会	158

3	短大・高専図書館	短大・高専における図書館の役割	短期大学・高等 専門学校図書館 部会	26
4	学校図書館（1）	これからの学校図書館専門職員に 対する研修を考える	図書館情報学教 育部会/学校図 書館部会	110
5	学校図書館（2）	学校図書館における図書館の自由 を考える	学校図書館部会 /図書館の自由 委員会	62
6	専門図書館	図書館インターシッププログラム の試行図書館報告	専門図書館部会	30
7	図書館情報学教育	司書課程における質保証のあり方 を考える	図書館情報学教 育部会	46
8	児童青少年サービス	読書によって培う子どもの未来	児童青少年サー ビス委員会	85
9	障害者サービス（1）	障害者差別解消法の施行で求めら れる合理的配慮の提供と図書館サ ービス	著作権委員会・ 障害者サービ ス委員会	123
10	障害者サービス（2）	図書館向け電子書籍サービスシス テムのアクセスビリティの現状と 課題	障害者サービ ス委員会/出版流 通委員会	109
11	図書館の自由	図書館の自由と個人情報保護の現 在を考える	図書館の自由委 員会	91
12	出版流通	地域資料のデジタルアーカイブ化 に向けて	出版流通委員会	73
13	出版と図書館	出版と図書館	日本書籍出版協 会/出版流通委 員会	129
14	図書館を語る	図書館の役割を再考する	出版委員会	120
15	資料保存	デジタル化のリスクに向き合う	資料保存委員会	115
16	分類法と図書館（1）	NDC10版から拓がる①改訂ポイ ントと展望	分類委員会	94
17	分類法と図書館（2）	NDC10版から拓がる②図書館分 類の地平	分類委員会	65
18	多文化サービス	多文化共生と図書館の役割	多文化サービ ス委員会	56

19	職員問題	不安定雇用の中のキャリア形成	図書館政策企画委員会非正規雇用検討チーム	102
20	健康情報	健康情報サービスから探る地域との協働	健康情報委員会	77
21	市民と図書館	市民と図書館：図書館を支える市民の力	図書館友の会全国連絡会	100

(2) 研究集会等の開催

時期	名称・内容	場所	参加者	担当
11月25～26日	公共図書館全国研究集会（総合・経営部門、サービス部門）テーマ：未来を切り拓く図書館を目指して	松山市にぎたつ会館	153	公共図書館部会
11月5～6日	公共図書館全国研究集会（児童・青少年部門）テーマ：子どもの成長を支える読書の力	岐阜市立中央図書館	288	公共図書館部会
11月12日	大学図書館シンポジウム テーマ：2020年のNACSIS CAT/ILLを考える	パシフィコ横浜	260	大学図書館部会
8月9～10日	第44回学校図書館夏季研究集会 テーマ：学校図書館が図書館である意味を考える	高崎健康福祉大学	95	学校図書館部会
5月17日	第1回研究集会 テーマ：図書館情報学教育のFD	明治大学中野キャンパス	33	図書館情報学教育部会
3月6日	第2回研究集会 テーマ：図書館情報学境域を活性化させる実物・映像を中心とした教材	九州大学箱崎キャンパス	32	図書館情報学教育部会

(3) 図書館職員の育成（研修・セミナー等）

時期	名称・内容	場所	参加者	担当
9月27日～11月10日	中堅職員ステップアップ研修（1）	大阪私学会館	33 (修了者)	研修事業委員会
6月15日～10月28日	中堅職員ステップアップ研修（2）	日図協研修室	13 (修了者)	研修事業委員会
6月29日	政策セミナー「非正規雇用職員とはPart2」	日図協研修室	31	図書館政策企画委員会

2月16日	政策セミナー「公立図書館の運営を考える～武雄市図書館と海老名市立図書館の選書から見えること～」	日図協研修室	107	図書館政策企画委員会
8月24日、9月7日	図書館基礎講座	宮城県図書館	150	図書館政策企画委員会
10月5日、19日	図書館基礎講座	京都府立図書館	327	図書館政策企画委員会
11月2日、30日	図書館基礎講座	鹿児島県立図書館	196	図書館政策企画委員会
12月7日、21日	図書館基礎講座	横浜市開港記念会館	162	図書館政策企画委員会
2月1日、8日	図書館基礎講座	船橋市公民館	90	図書館政策企画委員会
8月8日	図書館の自由に関する宣言 60周年記念講演会	日図協研修室	87	図書館の自由委員会
6月22日～27日	第35回児童図書館員養成専門講座(前期)	日図協研修室	12	児童青少年委員会
9月28日～10月7日	第35回児童図書館員養成専門講座(後期)	日図協研修室	12	児童青少年委員会
6月3日～5日	障害者サービス担当職員養成講座(基礎コース)	日図協研修室	20	障害者サービス委員会(関東)
11月17日～19日	障害者サービス担当職員向け講座	国立国会図書館関西館	57	障害者サービス委員会(関西)
3月2日	障害者差別解消法施行に向けた図書館のサービスセミナー	日図協研修室	昼 100 夜 56	障害者サービス委員会(関東)
3月4日	同上	大阪府立中央図書館	116	障害者サービス委員会(関西)
6月1日	資料保存セミナー(見学会)	研究社印刷	8	資料保存委員会
11月9日	資料保存セミナー(見学会)	ブロード	25	資料保存委員会
12月4日	資料保存セミナー「国立公文書館の資料保存、これから」	日図協研修室	48	資料保存委員会
3月14日	資料保存セミナー(見学会)	王子マテリア 江戸川工場	17	資料保存委員会
2月8日～9日	第37回図書館建築研修会 東北における新たな図書館の動き	岩手県一関市文化センター	65	施設委員会
11月24日～	第2回医療・健康情報サービス研修	日図協研修室	31	健康情報委員会

25 日	会			
3 月 13 日	利用教育実践セミナーin 東京「館種を超えた情報リテラシー教育の枠組みづくりに向けて」	日図協研修室	41	図書館利用教育委員会

(4) 第 6 期認定司書事業（認定司書事業委員会）

第 6 期認定司書新規 16 名、更新 1 名を認定、(2016.4.1 付) (延べ 116 名)
普及事業として第 17 回図書館総合展で認定司書フォーラム (2015 年 11 月 11 日)
を開催 参加者：155 名

2. 研究・資料収集

(1) 図書館に関する調査研究及び成果の普及並びに資料収集

- ① 指定管理者制度の導入状況調査 (図書館政策企画委員会)
都道府県立図書館の協力を得て実施。時期：2015 年 5～7 月
- ② 専門図書館インターンシップ制度の研究及び人材育成に係る調査、研究会の開催
(専門図書館部会)
- ③ 『図書館政策資料 公契約条例』『図書館政策資料 学校図書館(2)』の刊行 (図書館政策企画委員会)
- ④ 『図書館の自由 ニュースレター集成』第 3 集の刊行 (図書館の自由委員会)
- ⑤ 児童図書館サービス全国調査 (児童青少年委員会)
調査を実施、集計中
- ⑥ 多文化サービス実態調査 (多文化サービス委員会)
大学図書館調査を 7 月、公共図書館調査を 10 月に実施。報告取りまとめ作業中
- ⑦ 『レファレンスに役立つ健康情報コアリスト 改訂版』作成、公開 (健康情報委員会)
- ⑧ 日本十進分類法 (分類委員会)
ア 『日本十進分類法 (NDC) 新訂 10 版』の普及
全国図書館大会ほか、各地の研究会等で発表、並びに各地研修会等へ講師の派遣
『日本十進分類法 (NDC) 新訂 10 版』手引きの刊行準備
イ 日本十進分類法の **Linked Data** 形式化の研究を継続
- ⑨ 基本件名標目表 (件名委員会)
『基本件名標目表 (BSH) 第 4 版』の追加標目の検討
- ⑩ 日本目録規則 (目録委員会)
新しい日本目録規則(新 NCR)の策定に向けて、国立国会図書館と連携して作業を継続
- ⑪ 『日本の図書館 統計と名簿 2015』(図書館調査事業委員会)
全国公共図書館及び大学図書館の統計と名簿の刊行 (紙版及び CD - ROM 版)
- ⑫ 『図書館雑誌』第 109 巻 4 号～第 110 巻 3 号 (図書館雑誌編集委員会)
- ⑬ 『現代の図書館』第 53 巻 2 号～第 53 巻 4 号 (現代の図書館編集委員会)

- ⑭『図書館年鑑 2015』7月刊行（図書館年鑑編集委員会）
- ⑮『JLA 図書館実践シリーズ』『JLA 図書館情報学テキストシリーズⅢ』（出版委員会）
継続して刊行
- ⑯ 図書選定事業（図書選定事業委員会）
『選定図書速報』第 2934 回～第 2977 回、『選定図書総目録 2015 年版』（CD-ROM 版）を刊行
- ⑰ 130 年史に向けての取り組み（資料室ほか）
『図書館年鑑』『図書館白書』等過去のデータの整理

(2) 図書館関係資料室「図書館の図書館」の運営

図書館の管理・運営・サービスに等に関する資料を体系的に収集し、一般の利用に供した。来室者：延べ 177 名 資料貸出数：242 点 問合せ：152 件

3. 図書館の振興

(1) 政策提言に関する事業

① 意見表明等

- ・自由民主党税制調査会長・公明党税制調査会長宛て「図書・雑誌・新聞への消費税軽減税率の適用を求めます」提出（10 月 26 日）
- ・文化庁宛「TPP 協定対応のための著作権法改正に係る要望」を提出（10 月 28 日）
- ・「図書館利用における障害者差別の解消に関する宣言」発表（12 月 22 日）
- ・自由民主党税制調査会長・公明党税制調査会長宛て「図書・雑誌・新聞への消費税軽減税率適用の要望」提出（12 月 24 日）提出
- ・文部科学大臣（3 月 17 日）、総務大臣（4 月 8 日）に面会し、公立図書館及び学校図書館の交付税措置等について要望書「地域活性化の核となる公立図書館の整備充実について（要望）」を提出

②学校図書館専門職員に関する提言（常任理事会、関係部会）

学校図書館職員問題検討会を設置し、幅広い観点から、学校図書館専門職員の現状と問題点の検討を行い、学校司書の資格、養成のあり方等を中心に提言案を検討

(2) 図書館設置及び運営等に関する相談・助言

各地の図書館や団体等からの相談に応じた 各月数件

(3) 日本図書館協会建築賞

建築賞の選考・顕彰（施設委員会）

第 31 回建築賞として、宇美町立図書館と東京理科大学葛飾図書館を選考し、全国図書館大会（東京）で表彰

(4) 図書館記念日・図書館振興の月ポスター頒布

(5) 国際交流（国際交流委員会）

- ・IFLA ケープタウン大会への参加。8 月 15 日～21 日。日本からの参加者 25 名

- ・2016IASL 東京大会キックオフイベント「IASL 日本、そして世界の学校図書館」
10月15日 国立オリンピック記念青少年総合センターで開催 参加者：65名
- ・アリゾナ ホーナーフェロウシップ・プログラムの実施
10月12日～28日 デイビッド・ブラウン氏が来日 10機関を訪問
1月22日～29日 サラ・コルトマイヤー氏が来日 3機関を訪問

(6) 被災地支援（東日本大震災対策委員会）

- ①情報交換会 7月3日、2月18日
- ②被災地図書館視察 9月30日～10月1日、11月17日～18日、1月26日、3月2日
- ③図書館再建支援 陸前高田市 山田町、南三陸町
- ④物品による支援 助成金による支援
- ⑤学校図書館整備支援
- ⑥震災を記録し記憶する活動

II. 収益目的事業

- ・日本図書館協会施設の貸与。

III. 管理運営活動

1. 会員の動向

集会や事業の度に、入会案内を配布するなど会員拡大の活動を行った。2013年度に会員数が大きく前年度を下回った(約 300 減)が、以後徐々に減少幅が小さくなり、2015年度は186減であった。

2. 公正・透明な管理運営の推進

代議員総会、理事会、常任理事会において、それぞれ適切・公正・透明な運営体制を整えた。また、部会活動費等経理事務取扱要項を定め、経理の適正化に努めた。

3. 健全な財政基盤の確立

2014年決算の財務分析を行い、財務分析報告書を作成して理事会等に報告し、その結果を反映して財務状況を常に確認し、プライマリーバランスに基づく財務運営を徹底した。

中期財政再建計画（改訂）に関しては、部会・委員会活動費や地方団体活動費の抑制、職員給与費の抑制等、会員や職員の協力により確実に実行し、プライマリーバランスを維持することができた。

財産の管理・運用について、理事の職務分担を徹底した。

財務状況の情報開示を推進した。

[資料1] 部会活動報告

部会名	活動内容
公共図書館部会	・全国公共図書館研究集会（サービス部門 総合・経営部門）

	<p>「未来を切り拓く図書館をめざして」2015年11月25～26日 松山市 にぎたつ会館 参加者 153名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国公共図書館研究集会（児童・青少年部門）「子供の成長を支える読書の力」2015年11月5～6日 岐阜市立中央図書館 参加者 288名 ・総会及び第1回幹事会 2015年6月18日 ・第2回幹事会 2016年2月16日 ・部会通信の発行 第1号3月28日
大学図書館部会	<ul style="list-style-type: none"> ・大学図書館シンポジウム（大学図書館研究集会）「2020年のNACSIS CAT/ILLを考える」2015年11月12日 パシフィック横浜 参加者 260名 ・部会委員会開催 第1回2015年5月29日 第2回2016年1月6日
短期大学・高等専門学校図書館部会	<ul style="list-style-type: none"> ・全国図書館大会第3分科会「短大・高専における図書館の役割～図書館史作成とFDの視点から」2015年10月16日 参加者 40名 ・総会及び第1回幹事会 2015年6月17日 第2回幹事会 2015年9月28日 第3回幹事会 2016年3月18日
学校図書館部会	<ul style="list-style-type: none"> ・第44回夏季研究集会「学校図書館が図書館である意味を考える」2015年8月9～10日 高崎健康福祉大学 参加者 95名 ・全国図書館大会第4分科会「これからの学校図書館専門職員に対する研修を考える」2015年10月16日 参加者 110名 ・全国図書館大会第5分科会「学校図書館における図書館の自由を考える」2015年10月16日 参加者 62名 ・部会報発行 6月、1月、3月
専門図書館部会	<ul style="list-style-type: none"> ・全国図書館大会第6分科会「専門図書館インターンシッププログラムの試行と報告」2015年10月16日 参加者 30名 ・インターンシップの実施 防災専門図書館 2015年8月25～26日 2名、農文協図書館 2015年9月8～9日 1名
図書館情報学教育部会	<ul style="list-style-type: none"> ・研究集会 第1回「図書館情報学教育のFD」2015年5月17日 参加者 33名 第2回「図書館情報学教育を活性化させる実物・映像を中心とした教材」2016年3月6日 参加者 32名 ・全国図書館大会第4分科会「これからの学校図書館専門職員に対する研修を考える」2015年10月16日 参加者 110名

	<ul style="list-style-type: none"> ・全国図書館大会第7分科会「司書課程における質保証のあり方を考える」2015年10月16日 参加者46名 ・総会5月17日 幹事会4月26日、10月16日、3月6日 ・会報（電子版）第110～112号の発行
--	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

[資料2] 会員現数（2016年3月31日現在）

- ・個人会員：3570
- ・施設会員：2236（公共1206、大学673、短大高専169、学校58、専門108、その他22）
- ・団体会員：13
- ・賛助会員：47件 121口
- ・準会員：8

[資料3]

会員のつどい開催状況

時期	名称	場所	参加者
7月12日～13日	第8回日本図書館協会九州地区図書館の集い in 宮崎「つながる図書館～図書館と市民をむすぶ～」	宮崎県立図書館	303
11月11日	日本図書館協会神奈川のつどい2015「神奈川の図書館を語ろうー文化的コンテンツ：美術館・図書館・博物館の連携」	横浜美術館	52
11月23日	日本図書館協会会員の集い2015in 埼玉	さいたま市民会館 おおみや	22
2月14日	日本図書館協会東海地区会員のつどい「これからの図書館をかたろう」	愛知県図書館	51
2月20日	第9回日本図書館協会・四国ブロックの集い「四国の図書館を熱くしよう in 香川」	琴平町文化会館	100

[資料4] 出版事業（2015年4月～2016年3月）

<定期刊行物>

- ①機関誌『図書館雑誌』月刊 B5 平均64p 7000部 933円（5, 8, 12月：1238円）（109巻4号～110巻3号）
- ②『現代の図書館』季刊 B5 平均64p 2600部 1300円（53巻1～4号）
- ③『日本の参考図書・四季版』季刊 B5 平均32p 2360部 600円（No.195～198）

<単行書等>

●新刊（15点）

- ①『法情報の調べ方入門 法の森のみちしるべ』（JLA 図書館実践シリーズ 28）ロー・ライブラリアン研究会編 B6 202p 1500部 1800円 5月25日刊
- ②『セミナー<児童図書館員養成を考える>—さまざまな立場から：利用者、公共図書館、大学、海外』 児童青少年委員会編 A4 58p 900部 1500円 6月30日刊
- ③『図書館政策資料 XVI 公契約条例』 日本図書館協会編 A4 96p 200部 1000円 7月20日刊
- ④『図書館政策資料 XV 学校図書館関係資料 2』 日本図書館協会編 A4 192p 350部 1200円 7月20日刊
- ⑤『図書館年鑑 2015』 図書館年鑑編集委員会編 B5 511p 1900部 17000円 7月30日刊
- ⑥『選定図書総目録 2015年版』 日本図書館協会編 CD-ROM 100部 20000円 7月31日刊
- ⑦『図書館の自由ニューズレター集成 3』 2006-2010 図書館の自由委員会編 A4 406p 1000部 2500円 10月10日刊
- ⑧『学校と図書館でまなぶインターネット活用法 ウェブ情報の使い方と情報リテラシーの向上 教員と司書教諭のためのガイド』 ジェームス・E. ヘリング著 須永和之訳 A5 159p 2200円 1月20日刊
- ⑨『情報資源組織論 新訂版』（JLA 図書館情報学テキストシリーズⅢ 9）柴田正美著 B5 270p 3000部 1900円 1月25日刊
- ⑩『IFLA 公共図書館サービスガイドライン 第2版 理想の公共図書館サービスのために』 クーンツ、グビン編 山本順一監訳 竹内ひとみほか訳 A5 210p 1200円 1月25日刊
- ⑪『東北における新たな図書館の動き 震災から立ち上がる図書館 第37回図書館建築研修会（2015年度）』 日本図書館協会編 A4 82p 100部 2000円 2月1日刊
- ⑫『日本の図書館 統計と名簿 2015』 図書館調査事業委員会編 B5 511p 2100部 14000円 2月12日刊
- ⑬『情報資源組織演習 新訂版』（JLA 図書館情報学テキストシリーズⅢ 10）和中幹雄ほか共著 B5 278p 3000部 1900円 3月15日刊
- ⑭『東松島市図書館 3.11からの復興 東日本大震災と向き合う』（JLA 図書館実践シリーズ 29）加藤孔敬著 B6 270p 1500部 1800円 3月25日刊
- ⑮『図書館制度・経営論』（JLA 図書館情報学テキストシリーズⅢ 2）永田治樹編著 B5 278p 3000部 1900円 3月25日刊

●増刷（20点）

- ①『図書館概論 四訂版』（JLA 図書館情報学テキストシリーズⅡ 1）2刷 塩見昇編著 3000部 1900円 4月刊
- ②『よい図書館施設をつくる』（JLA 図書館実践シリーズ 13）5刷 植松貞夫ほか著 500

部 1800円 4月刊

- ③『図書館実習 Q&A』 2刷 川原亜希世ほか著 500部 1600円 4月刊
- ④『図書・図書館史』(JLA 図書館情報学テキストシリーズⅡ 11) 3刷 小黒浩司編著 3000部 1300円 4月刊
- ⑤『新版 問題解決のためのレファレンス・サービス』6刷 長澤雅男、石黒祐子共著 1000部 1800円 6月刊
- ⑥『「図書館学の五法則」をめぐる188の視点 『図書館の歩む道』読書会から』(JLA 図書館実践シリーズ 20) 2刷 竹内愔編 500部 1700円 6月刊
- ⑦『図書館用語集 四訂版』 2刷 用語委員会編 1000部 2600円 7月刊
- ⑧『図書館のめざすもの 新版』 2刷 竹内愔編・訳 500部 800円 7月刊
- ⑨『図書館サービス論』(JLA 図書館情報学テキストシリーズⅡ 3) 8刷 小田光宏編著 1500部 1800円 7月刊
- ⑩『児童図書館サービス 1 運営・サービス論』(JLA 図書館実践シリーズ 18) 3刷 児童青少年委員会児童図書館サービス編集委員会編 500部 1900円 7月刊
- ⑪『基本件名標目表 第4版』 7刷 件名標目委員会編 1000部 6700円 7月刊
- ⑫『図書館の自由ニューズレター集成2』 2001-2005 2刷 図書館の自由委員会編 750部 741円 10月刊
- ⑬『日本十進分類法 新訂10版』 3刷 分類委員会編 4000部 6500円 10月刊
- ⑭『法情報の調べ方入門 法の森のみちしるべ』(JLA 図書館実践シリーズ 28) 2刷 ロー・ライブラリアン研究会編 500部 1800円 1月刊
- ⑮『情報資源組織演習』(JLA 図書館情報学テキストシリーズⅢ 10) 4刷 和中幹雄ほか共著 500部 1900円 2月刊
- ⑯『実践型レファレンス・サービス入門 補訂版』(JLA 図書館実践シリーズ 1) 2刷 齋藤文男、藤村せつ子著 500部 1800円 2月刊
- ⑰『みんなで考える こんなときどうするの? 図書館における危機安全管理マニュアル作成の手引き』 3刷 図書館政策企画委員会同書編集チーム編 500部 1500円 2月刊
- ⑱『問いをつくるスパイラル 考えることから探究学習をはじめよう!』6刷 図書館利用教育委員会図書館利用教育ハンドブック学校図書館(高等学校)版作業部会編著 500部 1000円 2月刊
- ⑲『児童サービス論』 (JLA 図書館情報学テキストシリーズⅢ 6) 3刷 堀川照代編著 3000部 1900円 3月刊
- ⑳『図書館概論 四訂版』(JLA 図書館情報学テキストシリーズⅡ 1) 3刷 塩見昇編著 3000部 1900円 3月刊